

豪雪による災害救助法の適用は

総務文教常任委員会

問 地域おこし協力隊の募集内容と結果は。

答 令和7年度の協力隊の募集内容は、①金山校の魅力化関連として、学生募集や寮監を行う隊員。②金山杉の木工製品の文化や技術を事業承継を行う隊員、③フリーミッションとして、金山に住んで何かをしたい隊員を募集した。しかし、数件の問い合わせはあったが応募者はいなかった。

問 農村地域と企業の三枝地区マッチング支援事業は。

答 令和8年からの事業で、3月20日に県で中間支援の業者選定をプロポーザルで行いコーディネーター役として地区に入り、その後新たに東京都内の企業等を選定し、年に2、3回の交流がある予定である。地区には4月に説明予定。

問 災害救助法の適用で家屋の応急修繕等で実際に予算は使われたのか。

答 2月5日に災害救助法の適用を受けて、その後被害が発生した場合に対応するための経費として五百二十三万九千円を予算化し、町民の方からの情報をいただき危険な住宅約20件の現場を確認したが、すでに業者に依頼して雪下ろしをされており実際に町が業務を施工したものはなかった。
※P3に関連質問



産業厚生常任委員会

公営・公共住宅の空室解消策は

問 公営・公共住宅の空室が目立つ。特に街なか公営住宅の使用料は本当にこのままなのか。

答 使用料は公営住宅法による算定である。新規事業として子育て世帯の定住促進策を考え、高校生以下の子供がいる場合、子供一人につき5千円を補助し負担軽減に努める。

問 健康づくりと健診・ドックを更に充実させ、診療所の平均外来患者数への増加策は。

答 診療所での事業所健診・高齢者ドック他各種健診も実施し、対象者も増加傾向。健康管理業務を委託し、看護師の派遣等の仕組みをつくる。

問 台湾やフランスからのインバウンド効果策や新庄・最上広域的連携計画は。

答 台湾向けの旅行商品PRを考えている。JALパリ支店を通じて

エージェントの来町を機会に、広域連携の旅行商品を実現したい。



台湾向けガイドブック「金山微本」

問 鳥獣解体施設の改修予定や猟友会からの要望は。

答 ベランダ周辺の改修を予定し、室内が暑いため間仕切りやクーラー設置への意見が出ている。

問 豪雪対策本部設置後の福祉除雪・雪下ろし申請件数や賃金の増加に対する要望は。

答 申請件数は40件。雪下ろし賃金が「現状に合っていない」と意見があり、補助基準単価の引き上げを検討している。

令和7年度 議会報告会 《Part 2》



12/9 有屋地域 (宮地区公民館)



12/8 金山地域 (農村環境改善センター)

町民の意見を町政に反映させるため、12月8日から12日までの5日間、町内5会場で議会報告会を開催した。

意見

先日、公民館大会で川西町「きらりよじま」の事例を聞き、人口減少が進む中で20、30年後を見据えた自治会のあり方を考える必要があると強く感じた。現在、多くの地区で役員のなり手不足や活動の縮小が起きている。川西のNPO法人のような形が理想とは言えないが、住民が主体的に参加し、行政と連携して地域づくりを進める仕組みを今から議論し始めるべきではないか。

回答

議会でもこの問題は議論されており、町長も「きらりよじま」の事例を参考にしたいと答弁しています。現状の対策は、タブレット配布による区長の負担軽減など対症療法的なものですが、今後は地域おこし協力隊の力を借りるなど、より抜本的な対策を町全体で考えていく必要があります。一つの集落では限界があるため、

より広いエリアでの連携や「小さな拠点づくり」といった視点も重要です。誰が主導してこの議論を進めるのかという課題はありますが、議会としてもこの問題意識を共有し、将来を見据えた組織形態を考えていかなければなりません。

意見

町が力を入れている新庄南高校金山校の「みらい留学」制度ですが、今後の展望は。

回答

みらい留学制度は非常に注目されており、今年度の個別相談会には昨年度を上回る49組が参加するなど、関心が高まっています。町の厚い支援が他県からも魅力的に映っているようです。高校の存続は県の判断になりますが、町としては引き続きこの取り組みを支援し、一人でも多くの生徒が金山で学んでくれることを期待しています。

意見

人口減少と高齢化が進んで、空き家が年々増えている。このまま見過ごしておくのか。具体的な案を示さないと空き家だらけになる。ハクビシ

ンや熊が入らないような対策はないのかと調べてみると考えている。所有者がいる場合はまだしも、誰もいなくなってしまう家をどうするのか聞きたい。
※P9に関連質問

回答

空き家対策が一番難しいのは、個人財産であるということです。個人の財産については、他の人は手をつけられない。町としても、危険空き家の解体に対して補助金を出していますが、現状は空き家が増えている状況です。

意見

議員のなり手が不足していると感じます。特に若い世代が議員を目指しやすいように、報酬を上げることも考えるべきではないか。生活の保障がなければ、なかなか手を挙げられないと思う。

回答

議員の定数と報酬については、まさに検討を進めている重要なテーマです。いただいたご意見も参考に、来年度中には一定の方向性を示せるよう、議論を深めてまいります。



12/12 中田地域 (上中田地区公民館)



12/11 東郷地域 (ビーナッツ工房)



12/10 西郷地域 (朴山地区公民館)